

## 横ばいとなっている

(前回:横ばいとなっている)

生産は横ばい傾向であるが、弱含んでいる。輸出は8か月ぶりの減少。個人消費は横ばい傾向。  
雇用は求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

## ■ 10月生産:横ばい傾向であるが、弱含んでいる

(9月:横ばい傾向であるが、弱含んでいる)

- 鉱工業生産指数 93.3  
前月比 0.0% (横ばい)  
前年同月比 ▲7.0% (2か月連続)
- 全13業種中、上昇は5業種  
輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業等
- 低下は8業種  
汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業等

(出所:九州経済産業局)

## ■ 10月輸出:減少(8か月ぶり)

(9月:増加)

- 輸出額 5,601億円  
前年同月比 ▲6.3% (8か月ぶり)
- 主要品目  
自動車 853億円 ▲48.0% (2か月連続)  
電子部品 877億円 +8.1% (4か月連続)  
鉄鋼のフラットロール製品  
476億円 +51.2% (12か月連続)
- 国別  
中国 1,302億円 ▲23.9% (3か月連続)  
米国 658億円 ▲27.8% (9か月ぶり)  
韓国 816億円 +12.2% (15か月連続)

(出所:門司税関)

## ■ 10月個人消費:横ばい傾向

(9月:横ばい傾向)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)  
1,290億円 前年同月比 +1.5% (3か月ぶり)
- コンビニ 992億円 +2.4% (2か月連続)
- 家電大型専門店 253億円 ▲0.3% (2か月ぶり)
- ドラッグストア 581億円 ▲1.0% (9か月連続)
- ホームセンター 297億円 ▲3.3% (5か月連続)
- 新車登録台数 24,254台 ▲33.3% (5か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

## ■ 10月雇用:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる

(9月:求人に改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる)

- 有効求人倍率 1.18倍  
前月比±0.00ポイント(横ばい)
- 新規求人倍率 2.02倍  
前月比▲0.02ポイント  
(3か月ぶり)
- 新規求人数  
医療・福祉、卸売業・小売業、製造業、建設業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

## ■ 業況:横ばい

- 9月の業況DI(%ポイント)  
全産業 ▲7 変化幅±0  
製造業 ▲3 変化幅▲1  
非製造業 ▲10 変化幅▲1
- 先行き(12月)  
全産業 ▲5 変化幅+2  
製造業 +2 変化幅+5  
非製造業 ▲8 変化幅+2

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

## ■ 設備投資:増加

- 20年度(実績)  
全産業 ▲15.6%  
製造業 ▲13.1%  
非製造業 ▲19.8%
- 21年度(計画)  
全産業 +28.3%  
製造業 +33.6%  
非製造業 +18.5%

(出所:日本銀行福岡支店 短観9月)

## ■ 10月住宅建設:増加(8か月連続)

- 新設着工戸数 8,384戸  
前年同月比+11.5%  
(8か月連続)
- 持家 2,997戸  
+17.8% (8か月連続)
- 貸家 3,297戸  
+13.6% (5か月連続)
- 分譲 2,080戸  
+1.8% (9か月連続)

(出所:国土交通省)

## ■ 10月公共投資:増加(2か月ぶり)

- 工事請負金額 1,701億円  
前年同月比+21.8% (2か月ぶり)
- 発注者別前年同月比  
国 +27.1%  
独立行政法人等 +5.8%  
県 +22.4%  
市町村 +15.3%

(出所:西日本建設業保証株)

## ■ 10月倒産:増加(16か月ぶり)

- 倒産件数 48件  
前年同月比 +14.3%
- 負債総額 94.1億円  
+145.6% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)  
製造業 0件 (▲100.0%)  
卸・小売業 14件 (+75.0%)  
建設業 5件 (▲37.5%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

# 九経マンスリー (2021年10月)

2021年12月13日  
九州経済産業局

今月の管内経済動向: 九州地域の経済は、横ばいとなっている

生産は横ばい傾向であるが、弱含んでいる。輸出は8か月ぶりの減少。個人消費は横ばい傾向。雇用は求人改善の動きがみられるものの、厳しさがみられる。

概 況	九州の主要経済指標(2021年10月)														
<b>1. 生産動向</b> 10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.3となり、前月比が0.0%と横ばいとなった。前年同月比は▲7.0%と2か月連続の低下となった。	<b>■生産動向【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前月比</th> <th>前年同月比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産指数</td> <td>93.3</td> <td>0.0 ▲7.0</td> </tr> <tr> <td>(参考)出荷指数</td> <td>86.0</td> <td>1.7 ▲14.2</td> </tr> <tr> <td>在庫指数</td> <td>96.6</td> <td>2.4 ▲5.0</td> </tr> </tbody> </table>				前月比	前年同月比	生産指数	93.3	0.0 ▲7.0	(参考)出荷指数	86.0	1.7 ▲14.2	在庫指数	96.6	2.4 ▲5.0
	前月比	前年同月比													
生産指数	93.3	0.0 ▲7.0													
(参考)出荷指数	86.0	1.7 ▲14.2													
在庫指数	96.6	2.4 ▲5.0													
<b>2. 設備投資動向</b> 2021年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比+33.6%、非製造業は同+18.5%、全産業は同+28.3%と前年度を上回る見込み。	<b>■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2021年度計画)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>▲15.6</td> <td>28.3</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>▲13.1</td> <td>33.6</td> </tr> <tr> <td>非製造業</td> <td>▲19.8</td> <td>18.5</td> </tr> </tbody> </table>				2020年度	2021年度	全産業	▲15.6	28.3	製造業	▲13.1	33.6	非製造業	▲19.8	18.5
	2020年度	2021年度													
全産業	▲15.6	28.3													
製造業	▲13.1	33.6													
非製造業	▲19.8	18.5													
<b>3. 貿易動向</b> 10月の輸出額は、前年同月比▲6.3%と8か月ぶりの減少。輸入額は+52.2%と7か月連続の増加となった。	<b>■貿易動向【財務省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>輸出通関額</td> <td>5,601 億円</td> <td>▲6.3</td> </tr> <tr> <td>輸入通関額</td> <td>5,426 億円</td> <td>52.2</td> </tr> </tbody> </table>			輸出通関額	5,601 億円	▲6.3	輸入通関額	5,426 億円	52.2						
輸出通関額	5,601 億円	▲6.3													
輸入通関額	5,426 億円	52.2													
<b>4. 消費動向</b>	<b>■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>129,028 百万円</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>百貨店</td> <td>35,747 百万円</td> <td>3.6</td> </tr> <tr> <td>スーパー</td> <td>93,282 百万円</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table>			合計	129,028 百万円	1.5	百貨店	35,747 百万円	3.6	スーパー	93,282 百万円	0.7			
合計	129,028 百万円	1.5													
百貨店	35,747 百万円	3.6													
スーパー	93,282 百万円	0.7													
<b>●百貨店・スーパー販売額</b> 10月の百貨店・スーパー販売額は1,290億円で前年同月比+1.5%と3か月ぶりの増加となった。百貨店は357億円で同+3.6%と3か月ぶりの増加、スーパーは933億円で同+0.7%と5か月ぶりの増加となった。	<b>■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>99,240 百万円</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>店舗数</td> <td>5,555 店</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>			販売額	99,240 百万円	2.4	店舗数	5,555 店	0.5						
販売額	99,240 百万円	2.4													
店舗数	5,555 店	0.5													
<b>●コンビニエンスストア販売額</b> 10月のコンビニエンスストア販売額は、992億円で、前年同月比+2.4%の増加となった。店舗数は5,555店となった。	<b>■家電販売額【九州経済産業局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>販売額</td> <td>25,255 百万円</td> <td>▲0.3</td> </tr> </tbody> </table>			販売額	25,255 百万円	▲0.3									
販売額	25,255 百万円	▲0.3													
<b>●家電販売額</b> 10月の家電販売額は253億円で、前年同月比▲0.3%の減少となった。	<b>■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>乗用車計</td> <td>24,254 台</td> <td>▲33.3</td> </tr> <tr> <td>普通乗用車</td> <td>8,121 台</td> <td>▲34.0</td> </tr> <tr> <td>小型乗用車</td> <td>9,936 台</td> <td>▲36.5</td> </tr> <tr> <td>軽自動車</td> <td>10,197 台</td> <td>▲30.7</td> </tr> </tbody> </table>			乗用車計	24,254 台	▲33.3	普通乗用車	8,121 台	▲34.0	小型乗用車	9,936 台	▲36.5	軽自動車	10,197 台	▲30.7
乗用車計	24,254 台	▲33.3													
普通乗用車	8,121 台	▲34.0													
小型乗用車	9,936 台	▲36.5													
軽自動車	10,197 台	▲30.7													
<b>●乗用車新車登録・届出台数</b> 10月の乗用車新車登録・届出台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽自動車が前年を下回り、乗用車全体で前年同月比▲33.3%と5か月連続の減少となった。	<b>■家計調査【総務省】(2021年9月)</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>消費支出(二人以上の世帯)</td> <td>238,190 円</td> <td>(実質) ▲7.7</td> </tr> <tr> <td>実収入(勤労者世帯)</td> <td>435,855 円</td> <td>(実質) 0.8</td> </tr> <tr> <td>平均消費性向(季調値、全国)</td> <td>63.4%</td> <td>▲3.5</td> </tr> </tbody> </table>			消費支出(二人以上の世帯)	238,190 円	(実質) ▲7.7	実収入(勤労者世帯)	435,855 円	(実質) 0.8	平均消費性向(季調値、全国)	63.4%	▲3.5			
消費支出(二人以上の世帯)	238,190 円	(実質) ▲7.7													
実収入(勤労者世帯)	435,855 円	(実質) 0.8													
平均消費性向(季調値、全国)	63.4%	▲3.5													
<b>●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。</b> 9月の消費支出(二人以上の世帯)は238,190円で、前年同月比▲7.7%と2か月ぶりの減少となった。実収入(勤労者世帯)は、同+0.8%と3か月連続の増加となった。	<b>■賃金【各県】(2021年8月)</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>全産業</td> <td>249,954 円</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>281,716 円</td> <td>2.2</td> </tr> </tbody> </table>			全産業	249,954 円	0.4	製造業	281,716 円	2.2						
全産業	249,954 円	0.4													
製造業	281,716 円	2.2													
<b>●賃金(現金給与総額)</b> 8月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+0.4%と9か月連続の増加、製造業は同+2.2%と8か月連続の増加となった。	<b>■住宅建設動向【国土交通省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>住宅着工計</td> <td>8,384 戸</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>持家</td> <td>2,997 戸</td> <td>17.8</td> </tr> <tr> <td>貸家</td> <td>3,297 戸</td> <td>13.6</td> </tr> <tr> <td>分譲住宅</td> <td>2,080 戸</td> <td>1.8</td> </tr> </tbody> </table>			住宅着工計	8,384 戸	11.5	持家	2,997 戸	17.8	貸家	3,297 戸	13.6	分譲住宅	2,080 戸	1.8
住宅着工計	8,384 戸	11.5													
持家	2,997 戸	17.8													
貸家	3,297 戸	13.6													
分譲住宅	2,080 戸	1.8													
<b>5. 住宅建設動向</b> 10月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が増加し、全体で前年同月比+11.5%と8か月連続の増加となった。	<b>■物価動向【日本銀行・総務省】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>消費者物価指数(九州)</td> <td>99.9</td> <td>▲0.2</td> <td>▲0.1</td> </tr> <tr> <td>企業物価指数(全国)</td> <td>107.8</td> <td>1.2</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table>			消費者物価指数(九州)	99.9	▲0.2	▲0.1	企業物価指数(全国)	107.8	1.2	8.0				
消費者物価指数(九州)	99.9	▲0.2	▲0.1												
企業物価指数(全国)	107.8	1.2	8.0												
<b>6. 物価動向</b> 10月の消費者物価指数(九州)は、99.9で前年同月比▲0.1%と2か月ぶりの低下(前月比▲0.2%)となった。国内企業物価指数は、107.8で前年同月比+8.0%と8か月連続の上昇(前月比+1.2%)となった。	<b>■雇用動向【九州各労働局】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>有効求人倍率(季調値)</td> <td>1.18 倍</td> <td>0.00</td> <td>0.14</td> </tr> <tr> <td>新規求人倍率(季調値)</td> <td>2.02 倍</td> <td>▲0.02</td> <td>0.20</td> </tr> </tbody> </table>			有効求人倍率(季調値)	1.18 倍	0.00	0.14	新規求人倍率(季調値)	2.02 倍	▲0.02	0.20				
有効求人倍率(季調値)	1.18 倍	0.00	0.14												
新規求人倍率(季調値)	2.02 倍	▲0.02	0.20												
<b>7. 雇用動向</b> 10月の有効求人倍率は前月比横ばいの1.18倍、新規求人倍率は同▲0.02ポイントの2.02倍となった。	<b>■公共投資動向【西日本建設業保証㈱】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>請負金額</td> <td>170,064 百万円</td> <td>21.8</td> </tr> </tbody> </table>			請負金額	170,064 百万円	21.8									
請負金額	170,064 百万円	21.8													
<b>8. 公共投資動向</b> 10月の公共工事請負金額は、前年と比較し、国、県、市町村、独立行政法人等が増加し、全体で前年同月比+21.8%と2か月ぶりの増加となった。	<b>■企業倒産動向【㈱東京商工リサーチ福岡支社】</b> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>倒産件数</td> <td>48 件</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>負債金額</td> <td>9,412 百万円</td> <td>145.6</td> </tr> </tbody> </table>			倒産件数	48 件	14.3	負債金額	9,412 百万円	145.6						
倒産件数	48 件	14.3													
負債金額	9,412 百万円	145.6													
<b>9. 企業倒産動向</b> 10月の倒産件数は前年同月比+14.3%と16か月ぶりの増加、負債金額も同+145.6%と2か月ぶりの増加となった。															

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。 ・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

# 九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年12月13日  
九州経済産業局

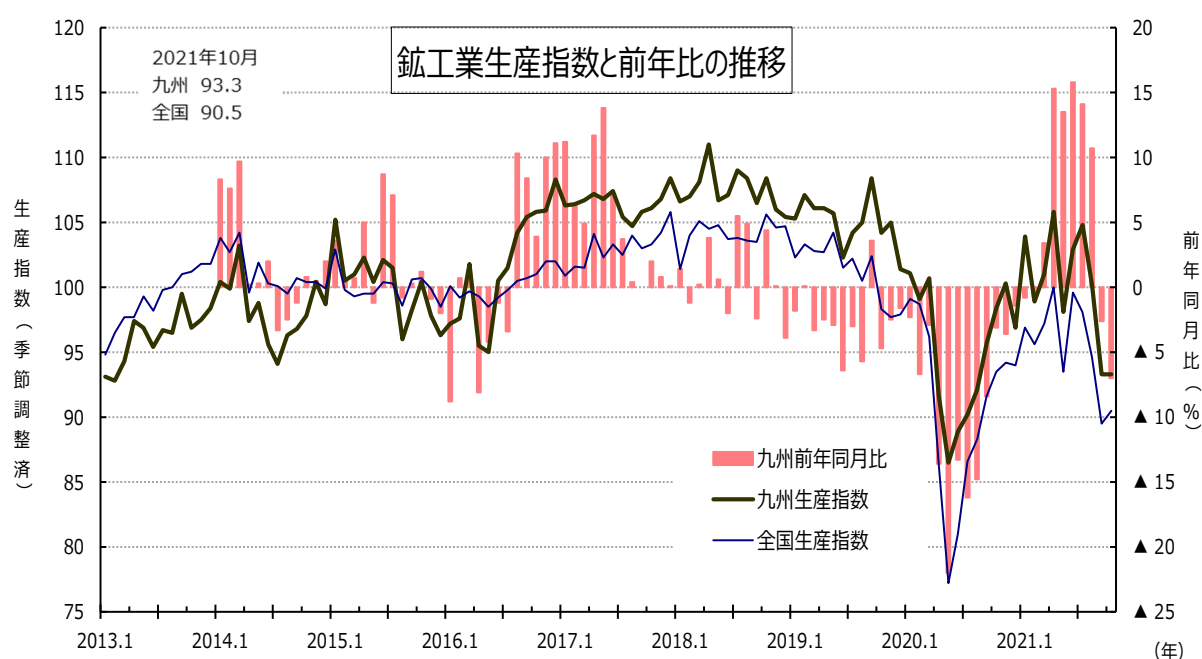
## 1. 生産動向

### (1) 全体

2021年10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は93.3となり、前月比が0.0%と横ばい、前年同月比は▲7.0%と2か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前月比 %	前年同月比 %	前年同月比 %	
生産	93.3	0.0	97.6	▲ 7.0	90.5	1.1	92.4	▲ 4.7
出荷	86.0	1.7	90.1	▲ 14.2	88.3	2.0	89.9	▲ 6.1
在庫	96.6	2.4	97.3	▲ 5.0	98.9	0.8	98.4	2.4
在庫率	114.0	3.1	107.7	▲ 22.4	119.9	0.0	118.4	5.3

▲印は低下を示す。(2015年=100)

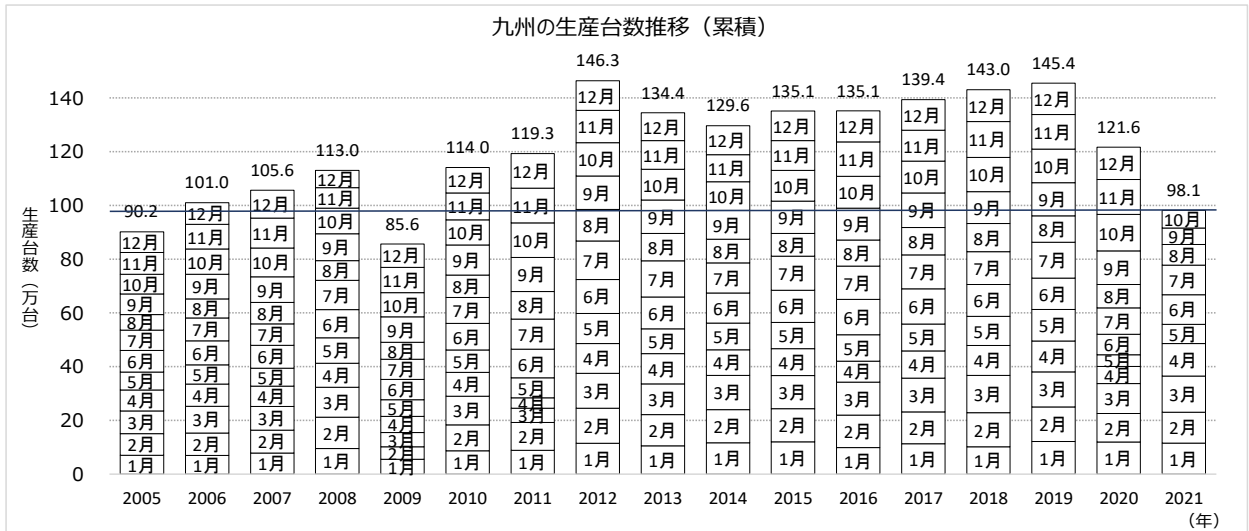


【生産】 前月比 0.0 % 横ばい (全13業種中 上昇5業種、低下8業種、横ばい0業種)

主な上昇・低下業種/ウエイト			前年		前月比		主な上昇・低下品目
			同月比	前月	前月	今月	
上昇	輸送機械工業	1,351.7	▲ 42.2	▲ 37.1	10.1	普通乗用車、軽・小型乗用車 等	
	電子部品・デバイス工業	1,359.4	▲ 2.5	▲ 1.4	4.7	半導体集積回路 (CCD・その他)、半導体集積回路 (ロジック) 等	
	電気・情報通信機械工業	638.9	▲ 1.8	▲ 4.6	4.7	電気照明器具、高圧開閉器 等	
低下	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	▲ 0.2	▲ 7.9	▲ 12.5	半導体製造装置、ボイラ・原動機 等	
	金属製品工業	487.4	0.3	3.4	▲ 7.1	アルミニウム製建具、スチール・ステンレス製建具 等	
	窯業・土石製品工業	439.4	4.3	0.2	▲ 4.5	ファインセラミックス (機能材)、ファインセラミックス (一般構造材) 等	

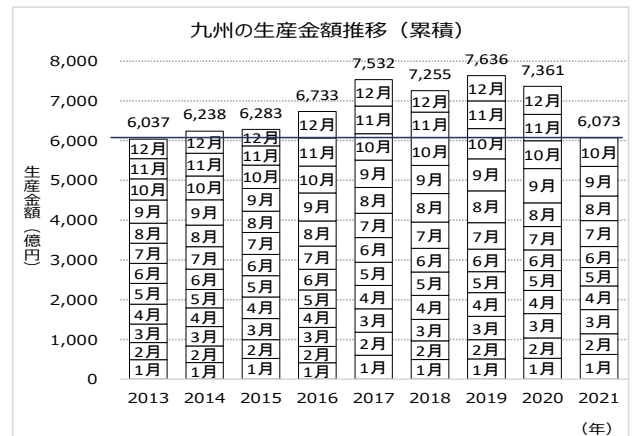
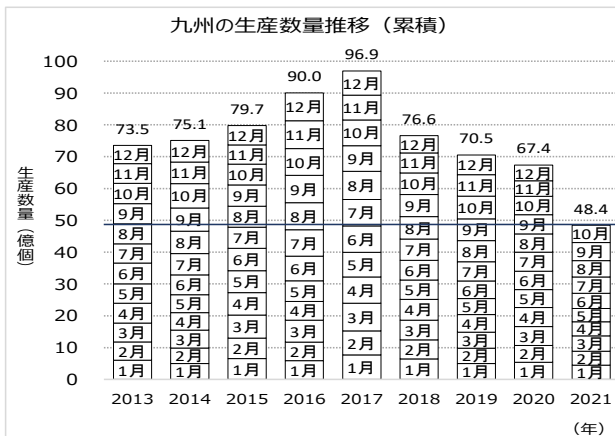
## (2) 四輪自動車生産動向

生産台数は 65,963 台と、前月比+8.1%、前年同月比▲51.5%となった。



## (3) IC生産動向

生産は、数量で 5 億 4,275 万個と、前月比▲4.0%、前年同月比▲5.5%となった。  
金額で 724 億 9,100 万円と、前月比▲2.0%、前年同月比+3.6%となった。



## 2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	20年度		21年度	
		修正率	(計画)	修正率
製造業	▲ 13.1	-	33.6	▲ 0.5
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 19.8	-	18.5	1.2
全産業 (除 電気・ガス)	▲ 15.6	-	28.3	0.0
(参考)全国全産業	▲ 8.5	-	7.9	0.8

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

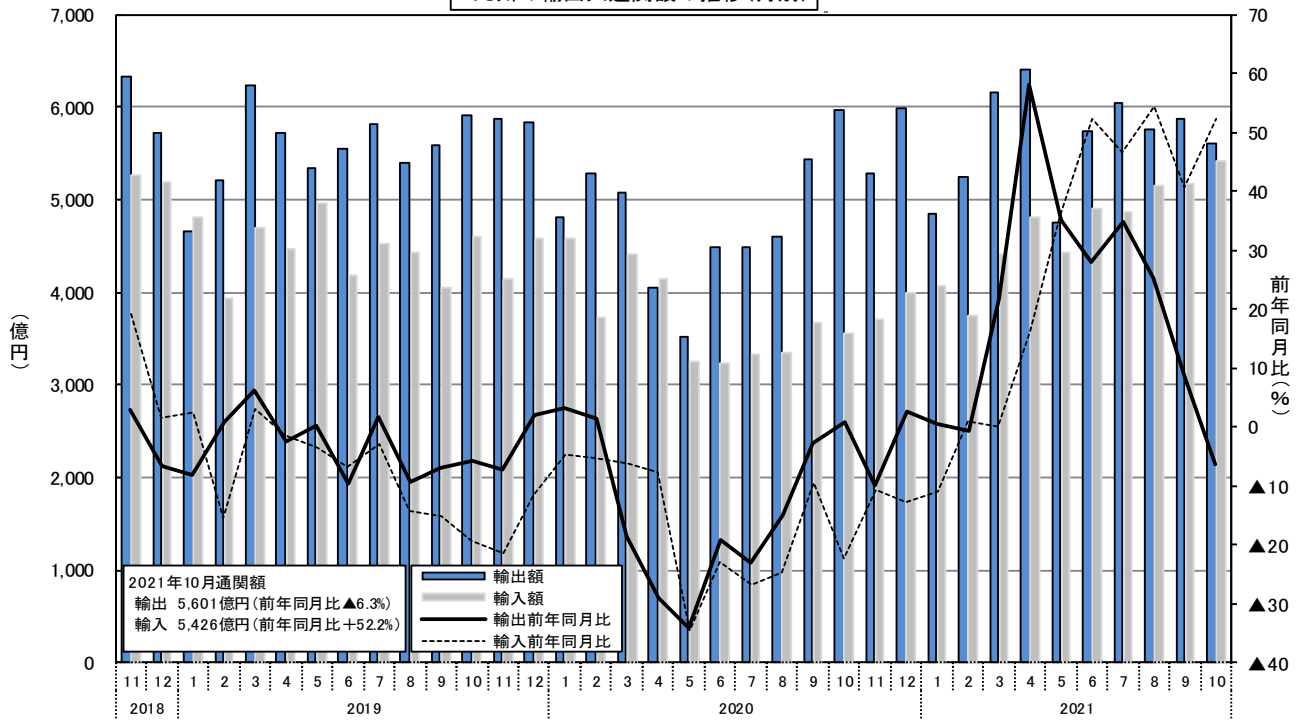
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」9月

## 3. 貿易動向

10月		金額	前年同月比		全国シェア
輸出	九州	5,601億円	▲ 6.3%	8か月ぶりの減少	7.8%
	全国	7兆1,840億円	+ 9.4%	8か月連続の増加	-
輸入	九州	5,426億円	+ 52.2%	7か月連続の増加	7.5%
	全国	7兆2,525億円	+ 26.7%	9か月連続の増加	-
貿易収支	九州	+ 175億円	-	18か月連続の貿易黒字	-
	全国	▲ 685億円	-	3か月連続の貿易赤字	-

		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			2021年		
				10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月		
輸出通関額(円)	九州	▲ 3.3	▲ 12.2	▲ 2.2	7.2	40.3	21.8	34.9	25.2	8.2	R	▲ 6.3	
	前年比:%	全国	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 0.8	6.0	45.0	24.9	37.0	26.2	13.0	R	9.4
輸入通関額(円)	九州	▲ 9.3	▲ 15.8	▲ 15.4	▲ 3.8	33.2	R 47.1	46.5	54.5	R	40.8	P	52.2
	前年比:%	全国	▲ 5.0	▲ 13.5	▲ 11.4	1.9	23.6	R 36.8	28.1	44.5	R	38.3	P
対アジア	輸出	▲ 0.8	▲ 4.1	2.7	11.9	32.2	9.9	23.3	13.6	▲ 4.7	R	▲ 4.0	
	前年比:%	輸入	▲ 6.7	▲ 10.5	▲ 1.9	11.9	28.3	R 27.4	23.2	35.5	R	24.0	P
為替レート(¥/\$)													
(期中平均)		109.01	106.78	104.49	105.90	109.48	110.10	110.29	109.84	110.17	113.10		
原油輸入価格													
(CIFベース\$/B)		66.79	47.14	43.84	55.87	66.95	R 73.21	71.76	73.78	R	73.86	P	76.81

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※( )内は前年同月比
増加	鉄鋼のフラットロール製品	476	+ 51.2%	12か月連続	+2.7%	ASEAN(+57.1%)、韓国(+120.4%)、中国(+19.8%)、アメリカ(+43.5%)、台湾(+19.9%)、香港(+127.6%)等が増加。中東(▲15.6%)、EU(▲62.3%)等が減少。
増加	有機化合物	237	+ 40.7%	7か月連続	+1.1%	中国(+130.9%)、韓国(+7.1%)、ASEAN(+29.2%)、EU(+20.3%)、台湾(+27.4%)等が増加。アメリカ(▲0.4%)、中東(▲22.0%)、香港(▲66.3%)等が減少。
増加	半導体等電子部品	877	+ 8.1%	4か月連続	+1.1%	韓国(+19.4%)、香港(+9.1%)、中国(+32.1%)、台湾(+0.3%)、アメリカ(+722.2%)等が増加。ASEAN(▲4.4%)、EU(▲23.5%)等が減少。
増加	ゴムタイヤ及びチューブ	220	+ 35.1%	8か月連続	+1.0%	アメリカ(+8.5%)、中東(+60.5%)、EU(+53.7%)、ASEAN(+31.2%)、中国(+58.8%)、韓国(+6.0%)、香港(+36.4%)等が増加。台湾(▲67.0%)等が減少。
減少	自動車	853	▲ 48.0%	2か月連続	▲13.2%	中国(▲42.0%)、アメリカ(▲56.9%)、中東(▲49.2%)、台湾(▲63.4%)、韓国(▲59.7%)、ASEAN(▲44.9%)、EU(▲95.7%)、香港(▲92.5%)等が減少。
減少	半導体等製造装置	197	▲ 26.3%	6か月連続	▲1.2%	韓国(+124.4%)、台湾(+141.8%)、アメリカ(+1345.7%)、ASEAN(+47.1%)、中東(+26.8%)等が増加。中国(▲68.2%)、EU(▲70.6%)、香港(▲53.1%)等が減少。
減少	船舶類	295	▲ 7.7%	3か月ぶり	▲0.4%	韓国(+174.2%)等が増加。ASEAN(▲51.0%)、香港(▲40.9%)、台湾(▲100.0%)、EU(▲100.0%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
増加	原油及び粗油	1,043	+131.2%	6か月連続	+16.6%	1,902千KL	+ 22.9%	2か月ぶり
増加	液化天然ガス	134	+ 14.8%	2か月ぶり	+0.5%	2,211百MT	▲ 42.5%	4か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要品目の動き ※( )内は前年同月比
増加	大韓民国	816	+ 12.2%	15か月連続	+1.5%	半導体等電子部品(+19.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+120.4%)、半導体等製造装置(+124.4%)、有機化合物(+7.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+6.0%)、船舶類(+174.2%)等が増加。自動車(▲59.7%)等が減少。
増加	ASEAN	915	+ 8.0%	8か月連続	+1.1%	鉄鋼のフラットロール製品(+57.1%)、有機化合物(+29.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+31.2%)、半導体等製造装置(+47.1%)等が増加。半導体等電子部品(▲4.4%)、船舶類(▲51.0%)、自動車(▲44.9%)等が減少。
増加	台湾	327	+ 8.8%	10か月連続	+0.4%	半導体等製造装置(+141.8%)、半導体等電子部品(+0.3%)、有機化合物(+27.4%)、鉄鋼のフラットロール製品(+19.9%)等が増加。自動車(▲63.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲67.0%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。
増加	香港	272	+ 1.7%	10か月ぶり	+0.1%	半導体等電子部品(+9.1%)、鉄鋼のフラットロール製品(+127.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+36.4%)等が増加。自動車(▲92.5%)、半導体等製造装置(▲53.1%)、有機化合物(▲66.3%)、船舶類(▲40.9%)等が減少。
減少	中華人民共和国	1,302	▲ 23.9%	3か月連続	▲6.8%	有機化合物(+130.9%)、鉄鋼のフラットロール製品(+19.8%)、半導体等電子部品(+32.1%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+58.8%)等が増加。自動車(▲42.0%)、半導体等製造装置(▲68.2%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	658	▲ 27.8%	9か月ぶり	▲4.2%	ゴムタイヤ及びチューブ(+8.5%)、半導体等製造装置(+1345.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(+43.5%)、半導体等電子部品(+722.2%)等が増加。自動車(▲56.9%)、有機化合物(▲0.4%)等が減少。
減少	中東	98	▲ 28.5%	7か月ぶり	▲0.7%	ゴムタイヤ及びチューブ(+60.5%)、半導体等製造装置(+26.8%)等が増加。自動車(▲49.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲15.6%)、有機化合物(▲22.0%)等が減少。
減少	EU	308	▲ 8.7%	8か月ぶり	▲0.5%	ゴムタイヤ及びチューブ(+53.7%)、有機化合物(+20.3%)等が増加。半導体等電子部品(▲23.5%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲62.3%)、半導体等製造装置(▲70.6%)、自動車(▲95.7%)、船舶類(▲100.0%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	中東	1,054	+126.1%	6か月連続	+16.5%
増加	オーストラリア	737	+ 85.8%	7か月連続	+9.5%
増加	中華人民共和国	894	+ 15.6%	9か月連続	+3.4%
増加	アメリカ合衆国	316	+ 29.1%	5か月連続	+2.0%
増加	ペルー	102	+150.9%	2か月連続	+1.7%
増加	ASEAN	662	+ 8.7%	9か月連続	+1.5%
増加	ロシア	129	+ 48.5%	5か月連続	+1.2%
増加	EU	135	+ 34.9%	8か月連続	+1.0%
増加	大韓民国	202	+ 8.5%	8か月連続	+0.4%
増加	ナイジェリア	1	+ 71.9%	5か月連続	+0.0%

## 4. 消費動向

### (1) 百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合計		百貨店		スーパー	
		前年同月比 全店	前年同月比 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)	販売額	前年同月比 全店 (既存店)
全国	1,651,794	1.3	(0.9)	426,544	2.5 (3.0)	1,225,249	0.9 (0.1)
九州計	129,028	1.5	(1.0)	35,747	3.6 (3.6)	93,282	0.7 (0.0)
衣料品	27,583	▲ 0.7	(▲ 0.6)	17,468	5.4 (5.4)	10,115	▲ 9.7 (▲ 9.5)
飲食料品	66,568	2.5	(1.5)	8,032	3.7 (3.7)	58,536	2.4 (1.2)
その他	34,877	1.3	(1.3)	10,247	0.8 (0.8)	24,631	1.5 (1.6)

【注】九州計の数値は沖縄を含む

	品目	寄与度 (全店)	主な動き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	合計	3.6	緊急事態宣言等解除による入店客数の増加に加え高額品が好調だったことや衣料品の動きが良かったことなどにより3か月ぶりの増加となった。	3.6	3.6
	衣料品計	2.6	中旬以降の気温低下により重衣料を中心とした婦人服に動きがみられたことや紳士服に動きがみられ3か月ぶりの増加となった。	5.4	5.4
	飲食料品	0.8	緊急事態宣言等解除による入店客数の増加や食品催事に動きがみられたことなどにより2か月連続の増加となった。	3.7	3.7
	その他計	0.2	時計などの高額品に動きがみられたことなどにより3か月ぶりに増加となった。	0.8	0.8
スーパー	合計	0.7	内食需要の継続により飲食料品に動きがみられたことなどから5か月ぶりの増加となった。	0.7	0.0
	衣料品計	▲ 1.2	一般的に動きが鈍く5か月連続の減少となった。	▲ 9.7	▲ 9.5
	飲食料品	1.5	内食需要の継続により惣菜やリカーに動きがみられたことなどから2か月連続の増加となった。	2.4	1.2
	その他計	0.4	アウトドア関連や医薬品に動きがみられ5か月ぶりの増加となった。	1.5	1.6

### (2) コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九州				全国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	99,240	2.4	5,555	0.5	992,716	▲ 0.2	56,367	0.5
全国比	10.0	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	25,255	▲ 0.3	318	5.0	351,096	1.9	2,615	2.4
全国比	7.2	—	12.2	—	—	—	—	—
ドラッグストア	58,075	▲ 1.0	1,442	▲ 5.9	609,889	4.9	17,458	3.5
全国比	9.5	—	8.3	—	—	—	—	—
ホームセンター	29,658	▲ 3.3	548	1.3	280,778	0.4	4,370	▲ 0.8
全国比	10.6	—	12.5	—	—	—	—	—



### (3) 乗用車新車登録・届出台数動向

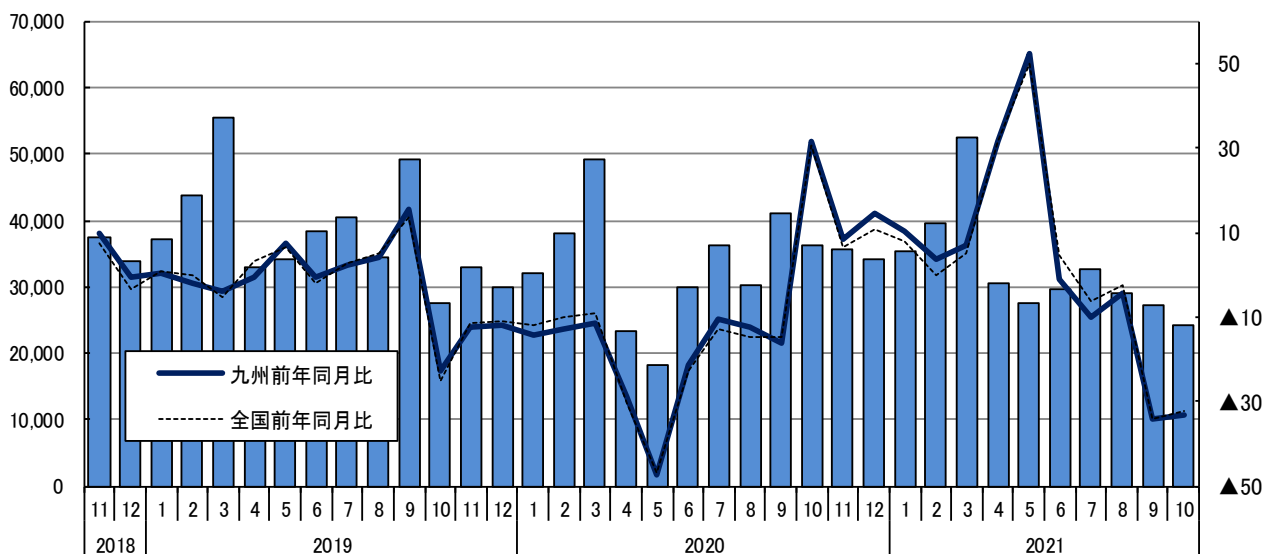
10月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	24,254台	▲ 33.3%	5か月連続	229,867台	▲ 32.3%	4か月連続
普通	8,121台	▲ 34.0%	2か月連続	89,361台	▲ 29.7%	2か月連続
小型	5,936台	▲ 36.5%	5か月連続	60,615台	▲ 35.4%	5か月連続
軽	10,197台	▲ 30.7%	5か月連続	79,891台	▲ 32.5%	5か月連続

		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月
九州	全体	▲ 1.9	▲ 11.4	17.6	6.9	23.0	▲ 17.6	▲ 10.1	▲ 4.2	▲ 33.9	▲ 33.3
	普通乗用車	1.6	▲ 13.0	29.3	20.4	46.1	▲ 3.0	13.2	13.7	▲ 25.9	▲ 34.0
	小型乗用車	▲ 6.1	▲ 9.9	4.0	▲ 14.0	▲ 7.3	▲ 22.3	▲ 11.3	▲ 4.0	▲ 46.4	▲ 36.5
	軽自動車	▲ 1.6	▲ 11.1	17.5	12.0	30.4	▲ 24.9	▲ 24.3	▲ 16.0	▲ 32.5	▲ 30.7
全国	全体	▲ 2.0	▲ 11.5	15.3	4.2	25.0	▲ 16.4	▲ 6.5	▲ 2.5	▲ 34.3	▲ 32.3
	普通乗用車	0.2	▲ 13.6	24.6	15.8	47.0	▲ 4.3	12.0	12.3	▲ 26.6	▲ 29.7
	小型乗用車	▲ 5.9	▲ 10.4	3.0	▲ 13.3	▲ 4.0	▲ 20.4	▲ 8.4	▲ 6.7	▲ 41.7	▲ 35.4
	軽自動車	▲ 1.1	▲ 10.0	15.7	7.9	32.1	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 12.8	▲ 37.0	▲ 32.5

台

乗用車新車登録・届出台数の推移[月別]

(軽自動車含む) 前年同月比 (%)



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

#### (4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

9月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	23万8,190円	▲ 7.7%
	全国	26万5,306円	▲ 1.9%	2か月連続

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

9月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	43万5,855円	+ 0.8%
	全国	48万1,800円	+ 2.5%	2か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

#### (5) 賃 金 (現金給与総額)

8月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
		全産業	24万9,954円		+ 0.4%	9か月連続
製造業	28万1,716円	+ 2.2%	8か月連続	13.5時間	+ 23.5%	6か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2019年	2020年	2020年	2021年			2021年			
				10~12	1~3	4~6	7~9	6月	7月	8月	9月
九州 全産業	5人以上	▲ 1.7	0.1	0.1	1.6	1.8	-	0.3	1.8	0.4	-
		▲ 3.6	▲ 2.4	▲ 4.0	5.7	3.3	-	3.3	5.6	2.2	-
全国 全産業	5人以上	▲ 0.4	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 0.3	1.0	0.5	0.1	0.6	0.6	0.2
		▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 3.8	0.6	3.3	2.1	4.2	1.8	2.7	1.8

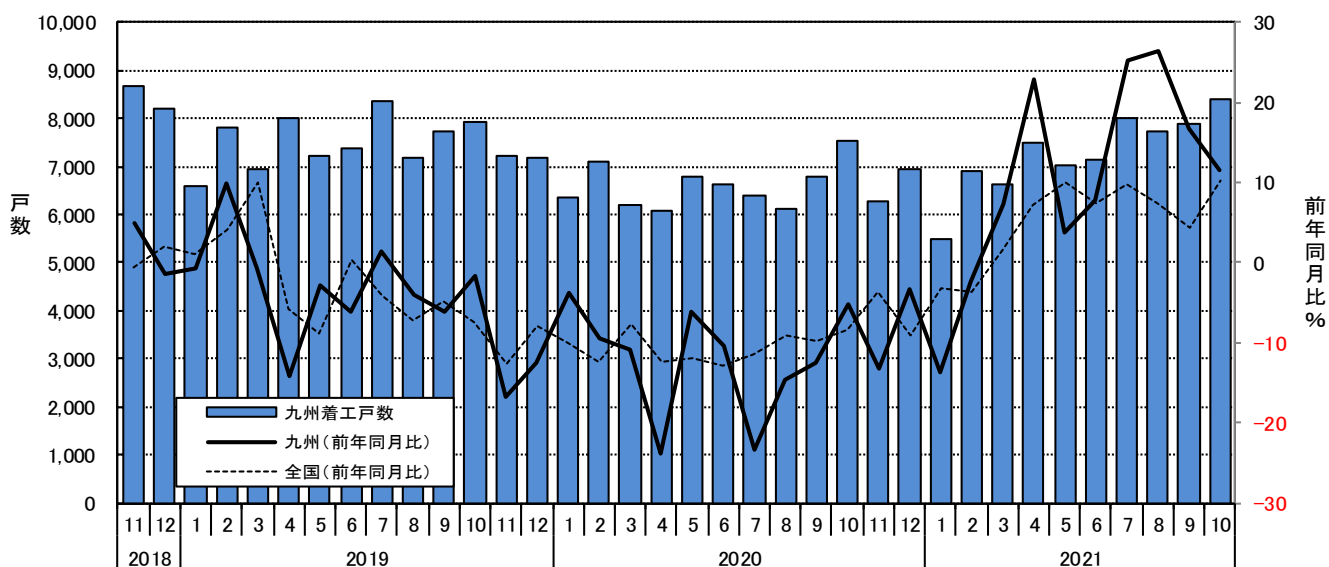
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

## 5. 住宅建設動向

10月		戸数(戸)	前年同月比(%)	
九州	総数	8,384戸	+ 11.5%	8か月連続
	持家	2,997戸	+ 17.8%	8か月連続
	貸家	3,297戸	+ 13.6%	5か月連続
	分譲	2,080戸	+ 1.8%	9か月連続
全国	総数	78,004戸	+ 10.4%	8か月連続
	持家	26,840戸	+ 16.6%	12か月連続
	貸家	29,822戸	+ 14.5%	8か月連続
	分譲	20,836戸	+ 0.6%	2か月ぶり

項目			2019年	2020年	2020年	2021年	2021年				2021年	2021年	2021年	2021年
					10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月		
新設住宅着工戸数	九州	▲ 5.0	▲ 11.6	▲ 7.2	▲ 3.0	11.1	22.6	25.2	26.5	16.8	11.5			
	全国	▲ 4.0	▲ 9.9	▲ 7.0	▲ 1.6	8.1	7.2	9.9	7.5	4.3	10.4			
持家	九州	▲ 1.2	▲ 12.6	▲ 5.0	▲ 0.6	11.8	19.0	29.0	14.4	14.1	17.8			
	全国	1.9	▲ 9.6	▲ 0.9	3.4	11.7	14.7	14.8	14.5	14.9	16.6			
貸家	九州	▲ 11.5	▲ 9.5	▲ 6.8	▲ 11.0	2.3	18.6	18.8	25.7	11.3	13.6			
	全国	▲ 13.7	▲ 10.4	▲ 10.4	▲ 5.1	10.0	7.2	5.5	3.8	12.8	14.5			
分譲住宅	九州	2.9	▲ 13.2	▲ 12.1	9.2	28.2	37.1	29.1	58.3	31.6	1.8			
	全国	4.9	▲ 10.2	▲ 11.4	▲ 1.9	2.1	▲ 0.3	11.0	5.3	▲ 14.9	0.6			

住宅着工戸数の推移(月別)



出所: 国土交通省「建築着工統計調査」

## 6. 物価動向

10月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	99.9	▲ 0.2%	6か月ぶり	▲ 0.1%	2か月ぶり
10月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	99.9	▲ 0.2%	6か月ぶり	+ 0.1%	2か月連続

10月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	107.8	+ 1.2%	11か月連続	+ 8.0%	8か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	102.2	+ 2.1%	2か月連続	+ 13.7%	9か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	113.4	+ 4.1%	12か月連続	+ 38.0%	8か月連続

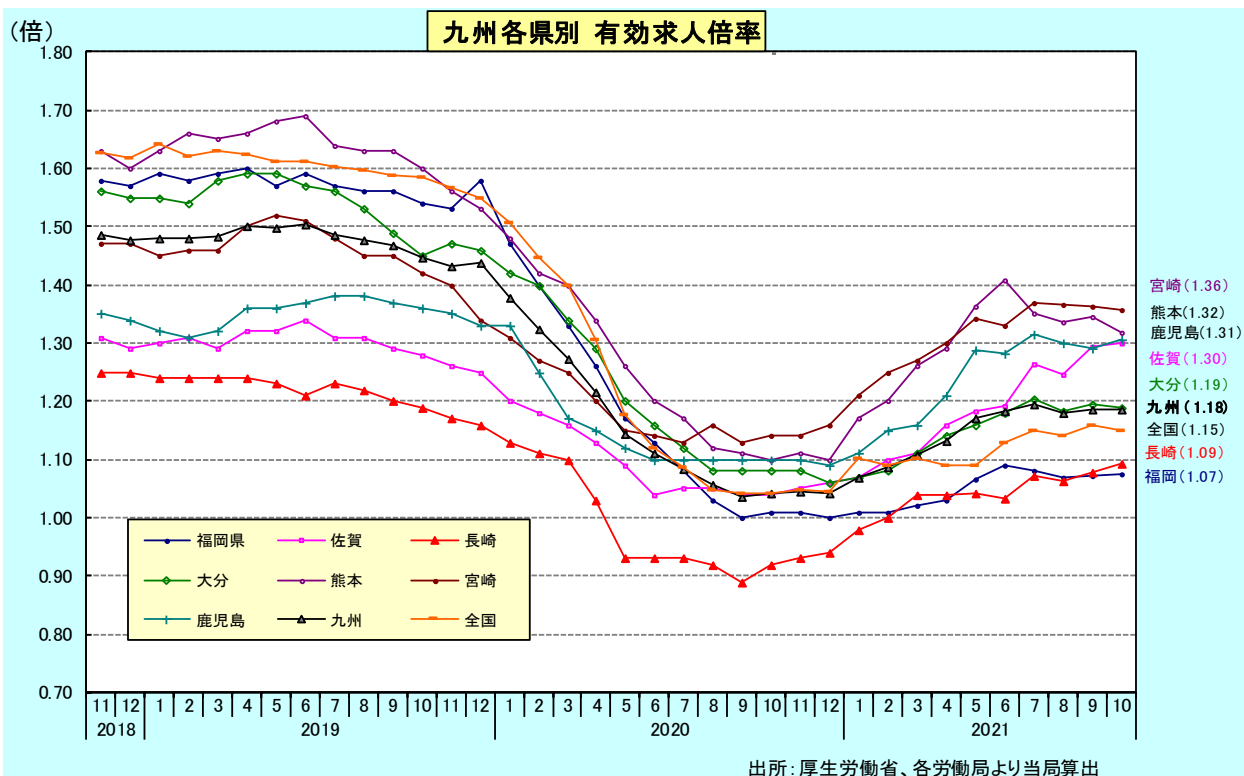
出所:総務省「消費者物価指数」(2020年基準)、日本銀行「企業物価指数」(2015年基準)

## 7. 雇用動向

項目		2019年	2020年	2020年 10~12	2021年 1~3	4~6	7~9	2021年 7月	8月	9月	10月
有効求人倍率	九州	1.47	1.14	1.04	1.09	1.16	1.19	1.19	1.18	1.18	1.18
	全国	1.60	1.18	1.04	1.10	1.10	1.15	1.15	1.14	1.16	1.15
新規求人倍率	九州	2.15	1.83	1.88	1.90	1.94	1.99	1.95	1.98	2.04	2.02
	全国	2.42	1.95	2.00	1.97	1.99	2.02	1.98	1.97	2.10	2.08

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

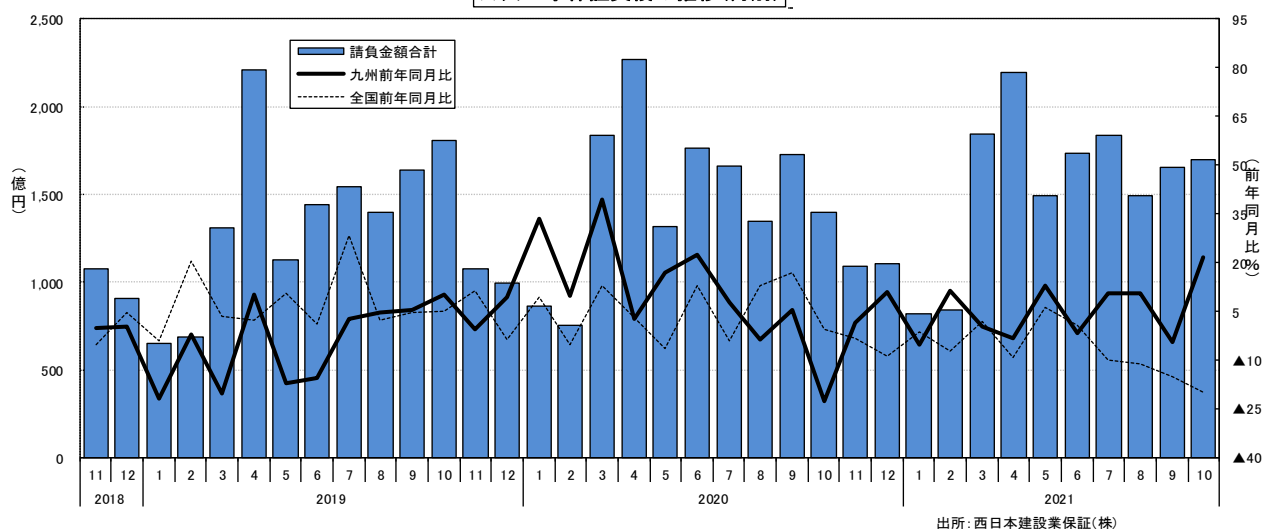
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



## 8. 公共投資動向

10月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,701億円	+ 21.8%	2か月ぶり	+ 27.1%	+ 5.8%	+ 22.4%	+ 15.3%	+ 73.4%
全国	10,767億円	▲ 19.8%	4か月連続	▲ 46.0%	▲ 29.6%	▲ 8.1%	▲ 14.5%	▲ 29.1%

公共工事保証実績の推移(月別)

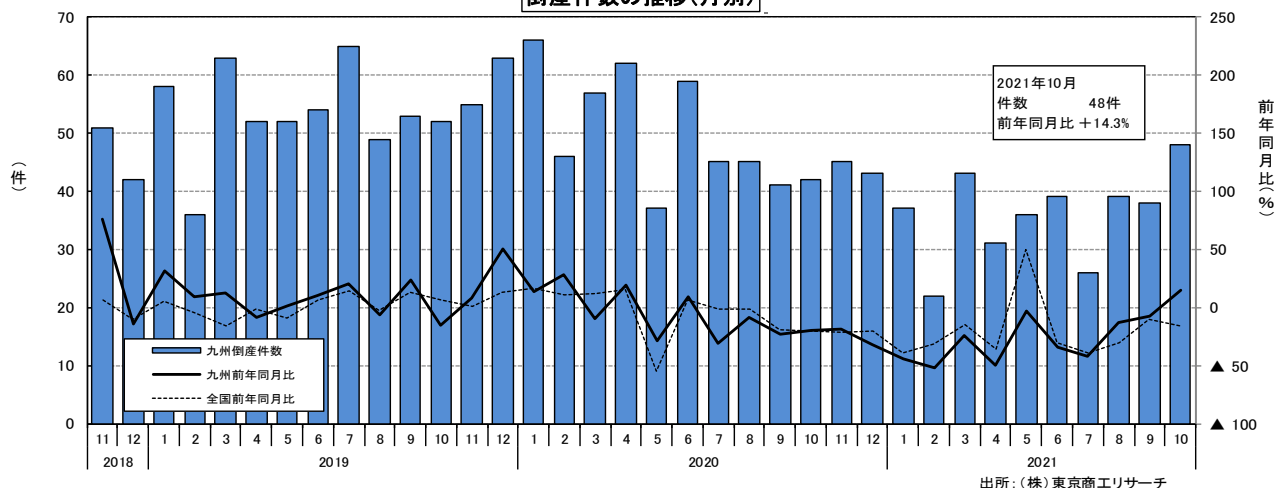


## 9. 企業倒産動向

10月		前年同月比		
倒産件数	九州	48件	+ 14.3%	16か月ぶり
	全国	525件	▲ 15.9%	5か月連続
負債総額	九州	94.1億円	+145.6%	2か月ぶり
	全国	984.6億円	+ 25.7%	3か月連続

10月		前年同月比			
倒産件数	業種別	製造	0件	▲100.0%	2か月連続
	卸・小売	14件	+ 75.0%	4か月ぶり	
	建設	5件	▲ 37.5%	2か月ぶり	
	その他	29件	+ 52.6%	7か月ぶり	

倒産件数の推移(月別)



## (参考)業況判断

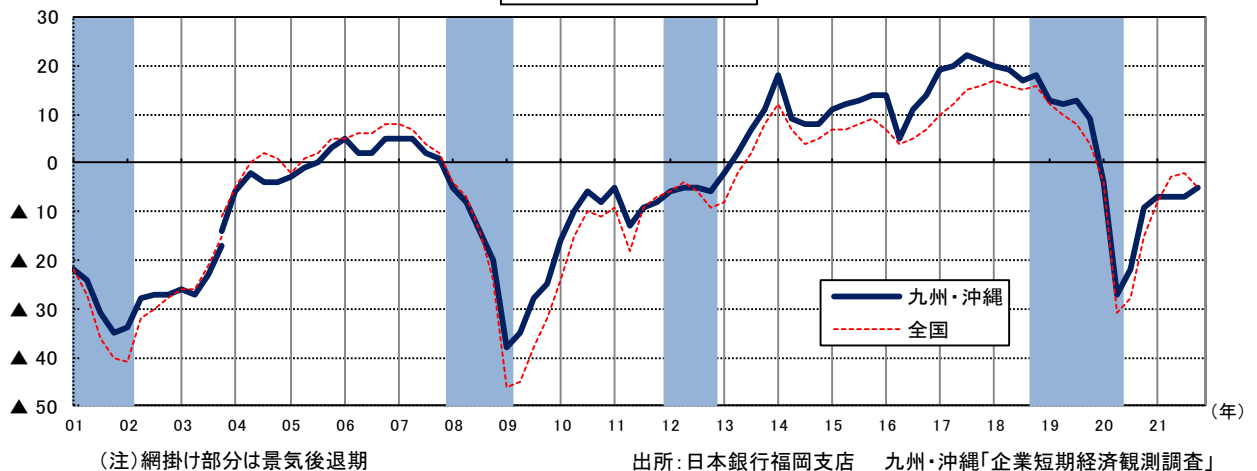
### (1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

日銀短観(9月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲3(前回調査比▲1ポイント)、非製造業は▲10(同▲1ポイント)、全産業で▲7(同±0ポイント)となった。次回予測(21年12月)の数値は、製造業は+2(9月比+5ポイント)、非製造業は▲8(同+2ポイント)、全産業で▲5(同+2ポイント)と予測。

		2019年			2020年				2021年 (先行き)			
業況判断DI		6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月
全産業	九州・沖縄	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲7	▲7	▲7	▲5
	全国	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲8	▲3	▲2	▲5
製造業	九州・沖縄	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲4	▲2	▲3	2
	全国	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲6	2	5	2
非製造業	九州・沖縄	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲8	▲9	▲10	▲8
	全国	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲9	▲7	▲7	▲8

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



### (2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2021年7-9月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲28.9と前期から▲0.7ポイントの低下となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2019年			2020年			2021年			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
全産業	九州・沖縄	▲9.5	▲13.9	▲19.8	▲19.1	▲60.7	▲34.1	▲24.1	▲28.7	▲28.2	▲28.9
	全国	▲13.5	▲17.2	▲24.4	▲23.1	▲63.0	▲34.0	▲27.1	▲29.5	▲25.8	▲28.4
製造業	九州・沖縄	▲10.9	▲15.1	▲22.0	▲19.8	▲66.2	▲35.5	▲27.6	▲21.6	▲22.5	▲20.8
	全国	▲13.6	▲17.0	▲25.3	▲26.7	▲65.2	▲39.9	▲29.5	▲25.0	▲17.2	▲17.5
非製造業	九州・沖縄	▲8.7	▲13.7	▲19.3	▲18.7	▲58.9	▲34.0	▲23.3	▲30.5	▲29.4	▲32.5
	全国	▲13.6	▲16.9	▲24.1	▲22.0	▲62.4	▲31.9	▲26.5	▲31.2	▲28.8	▲32.1

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)

